

講義名	対)専門基礎演習(人)			授業形態	
担当教員	伊賀 尚武	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 1時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

本専門基礎演習では、神戸の街をモデルに「観光と宿泊」をテーマとした個人研究、グループワーク、フィールドワークを行い、街と共に作り出す宿泊施設の魅力について学習します。また、チームプレイを成立させるためのコミュニケーション力や、オーディエンス(聴衆)を魅了するプレゼンテーションスキルの開発にもチャレンジしていただきます。

到達目標

- ）観光地と宿泊施設の協働関係について理解できるようになる。
- ）グループコミュニケーションスキルが向上する。
- ）プレゼンテーションスキルが向上する。(資料作成技術、説得力)

提出課題

随時、課題を提出します。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

都度、タイムリーにフィードバックを行います。

評価の基準

授業への参加姿勢、課題提出、発表、グループワーク、レポート等を総合的に評価

履修にあたっての注意・助言他

- ）自由な発想を尊重します。
- ）個性の協働作業としてのチームワークを重要視します。
- ）意見を述べる力と聞く力、両方を養ってください。
- ）課題の提出方法は回によって異なるため都度指示します。
- ）フィールドワークの時に交通費などの実費が発生することを留意ください。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

必要に応じて随時資料を提示。

授業計画

1. ガイダンス
2. 神戸の街の魅力について考える(外国人目線、日本人目線、神戸っ子目線)
3. グループディスカッション
4. 宿泊施設の魅力について考える(利便性、機能性、安心感、ときめき等)
5. グループディスカッション
7. 宿泊施設と観光資源について考える
6. プレゼンテーション&ディスカッション
4. 神戸観光ツアー(目線を変えたときに見えてくるもの)
9. 宿泊施設ツアー(見学&レクチャー)
8. 神戸観光をより魅力的にするための宿泊施設とは
10. グループワーク 宿泊プランを作る・1
11. グループワーク 宿泊プランを作る・2
12. プレゼンテーション発表
13. プレゼンテーションのレビュー
14. 個人ワークとレポート
15. まとめ

授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア:PBL(課題解決型学習)	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ:ディスカッション、ディベート	エ:グループワーク
オ:プレゼンテーション	カ:実習、フィールドワーク
キ:その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習: 毎次回授業の課題を出しますので、事前に調べておく(120分)
*グループワークの場合はグループで事前調査しておく。
復習: 受講した内容について復習を行う。(120分)
*複数回、レポートとして提出を求める

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

- ）到達目標を達成することでDPに貢献できる。
- ）宿泊施設と観光について研究、議論、発表することによって、思考力、発想力、提案力、コミュニケーション力など、実社会で必要とされる資質を養うことができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

- ）講義の中で、当方からの問いに対し意見やアイデアをレスポンスする機会を設ける。
- ）授業内でグループによるディスカッションの機会を設ける。
- ）授業内で提示する課題についての回答にICTを使用することがある。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり、外資系ホテルで営業とマーケティングを担当、その経験を活かし「魅力的な宿泊施設づくり」について皆さんと共に研究していきたい。
また、本「専門基礎演習」においては特に観光資源とのコラボレーションによる宿泊施設の付加価値創造について考えたい。

備考

基本的に講義テーマに関連する書籍や資料の持ち込みは自由とする。